



平成 20 年 6 月 11 日

各 位

会社名 株式会社 マルマエ
代表者名 代表取締役社長 前田 俊一
(コード番号: 6264 東証マザーズ)
問合せ先 取締役経営企画室長 藤山 敏久
(TEL. 0996-64-2900)

平成 20 年 5 月度 月次受注残高についてのお知らせ

当社は、投資家をはじめとするステークホルダーの方々に、より正確に当社を理解していただくために、自社情報のタイムリー・ディスクロージャーを推進しておりますが、この一環として、下記のとおり当期 5 月度月次受注残高情報を開示いたします。

記

1. 月次受注残高

(1) 精密切削加工事業

(千円未満切捨て)

区分	受注残高	割合	前月比	前年同期比
液晶製造装置関連部品	112,928	8.7%	93.6%	320.8%
太陽電池製造装置関連部品	163,794	12.7%	100.1%	319.5%
半導体製造装置関連部品	29,135	2.3%	127.5%	196.3%
その他	2,738	0.2%	51.5%	362.7%
合計	308,596	23.9%	98.7%	302.4%

(2) 装置組立事業

(千円未満切捨て)

区分	受注残高	割合	前月比	前年同期比
太陽電池製造装置	982,804	76.1%	100.0%	—
合計	982,804	76.1%	100.0%	—

(3) 合計

(千円未満切捨て)

区分	受注残高	割合	前月比	前年同期比
精密切削加工事業	308,596	23.9%	98.7%	302.4%
装置組立事業	982,804	76.1%	100.0%	—
合計	1,291,400	100.0%	99.7%	1265.4%

2. 月次受注残高の推移

(1) 精密切削加工事業

(千円未満切捨て)

区分	9月	10月	11月	12月	1月	2月
液晶製造装置関連部品	54,186	51,851	51,984	121,734	145,966	*158,505
太陽電池製造装置関連部品	59,429	44,645	100,305	108,405	85,935	69,338
半導体製造装置関連部品	21,503	28,312	13,788	23,968	28,788	26,152
その他	9,488	10,708	9,384	4,831	4,816	2,467
合計	144,607	135,517	175,462	258,940	265,506	*256,464

区分	3月	4月	5月	6月	7月	8月
液晶製造装置関連部品	171,400	120,651	112,928	—	—	—
太陽電池製造装置関連部品	82,543	163,712	163,794	—	—	—
半導体製造装置関連部品	18,397	22,854	29,135	—	—	—
その他	2,505	5,313	2,738	—	—	—
合計	274,846	312,532	308,596	—	—	—

(2) 装置組立事業

(千円未満切捨て)

区分	9月	10月	11月	12月	1月	2月
太陽電池製造装置	—	—	—	—	—	366,112
合計	—	—	—	—	—	366,112

区分	3月	4月	5月	6月	7月	8月
太陽電池製造装置	639,574	982,804	982,804	—	—	—
合計	639,574	982,804	982,804	—	—	—

(3) 合計

(千円未満切捨て)

区分	9月	10月	11月	12月	1月	2月
精密切削加工事業	144,607	135,517	175,462	258,940	265,506	*256,464
装置組立事業	—	—	—	—	—	366,112
合計	144,607	135,517	175,462	258,940	265,506	*622,576

区分	3月	4月	5月	6月	7月	8月
精密切削加工事業	274,846	312,532	308,596	—	—	—
装置組立事業	639,574	982,804	982,804	—	—	—
合計	914,420	1,295,336	1,291,400	—	—	—

*平成20年6月11日に発表いたしました半期報告書及び中間決算短信の訂正に伴い数値を修正しております。

3. 月次受注残高の概況

平成20年5月末の受注残高の状況は、装置組立事業の受注残が横ばいであった他、精密切削加工事業につきましても、液晶製造装置関連分野の出荷検収額が受注額を超えて順調だったために若干減少し、半導体製造装置関連分野は関東事業所開設による効果が表れて若干増加し、又、太陽電池製造装置関連分野の受注は部品としては横ばいとなり、前月比99.7%の1,291,400千円になりました。

今後の受注見通しといたしましては、精密切削加工事業につきましては、液晶製造装置関連部品分野は、第10世代ガラス基板向け製造装置部品の案件が急増していることから順調に拡大する見通しです。また、太陽電池製造装置関連部品分野につきましては、部品としての受注残高は6月から始まる部品出荷検収に合わせて低下する見通しです。半導体製造装置分野につきましては、関東事業所の開設による効果があり、拡大する見通しです。

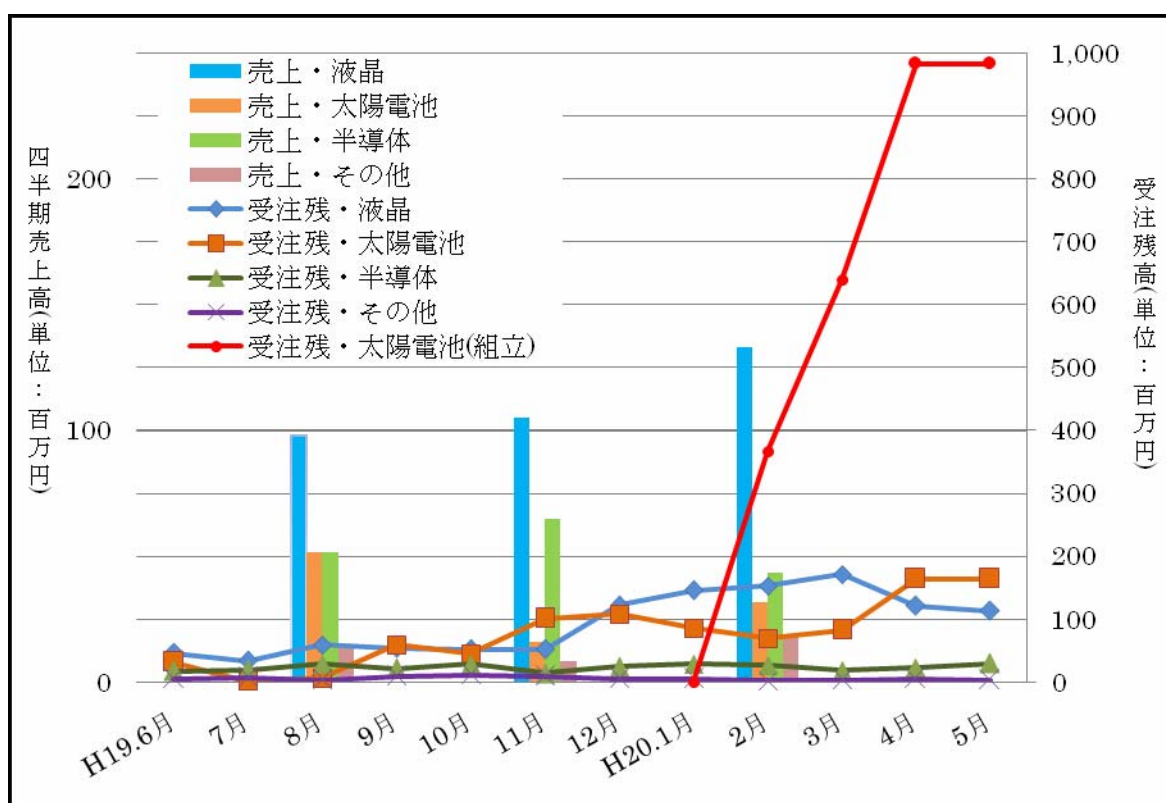
装置組立事業につきましては、今月は顧客発注タイミングによって一時的に横ばいとなりましたが、今後も順調に増加傾向で推移すると見込んでおります。

なお、これらの受注残高の中で、太陽電池製造装置関連部品につきましては、当期第4四半期に集中して検収され、また、太陽電池製造装置組立につきましても平成20年8月から装置出荷が始まるなど、大幅な下期偏重型の状況となっております。足元の好調な受注残高と売上高計上のタイミングにはズレが発生しますので、ご注意ください。

以上

(注)上記受注残高の数値は、速報値であるため、翌月以降に修正される可能性があります。また、監査法人による会計監査を受けておりませんので、本決算の数値とは差異が発生する可能性があります。

(参考：分野別 過去一年間の四半期売上高と月次受注残高の推移)



(注)当社の受注残数値は、受注別に長短さまざまなリードタイムを持つことから、売上高を直接あらわすものではありません。リードタイムの長い大型案件等が増えると受注残が多くなり、リードタイムが短く当社キャパシティ範囲内の受注が増えると受注残が減る傾向となっております。